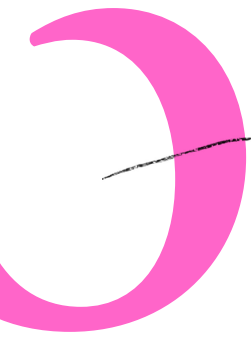
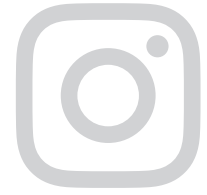


第6回 中学生・高校生・大学生対象 オンラインデザインコンペ

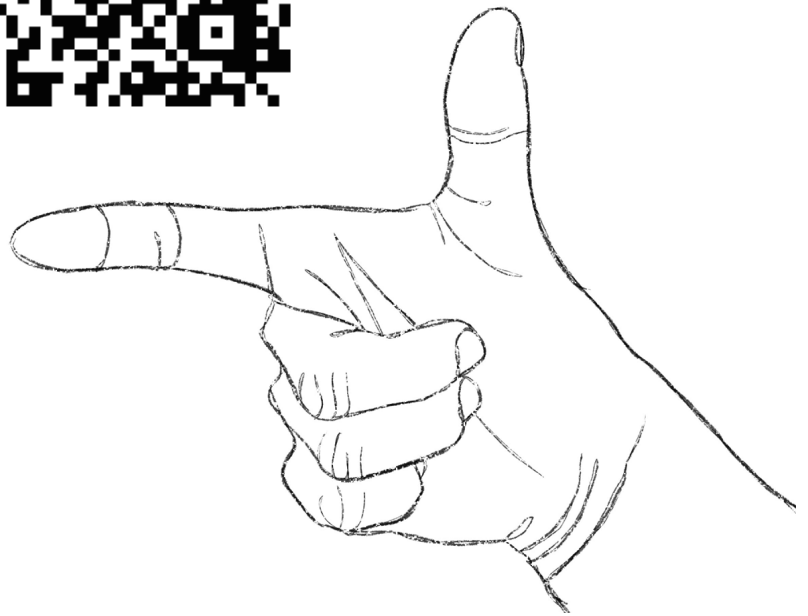
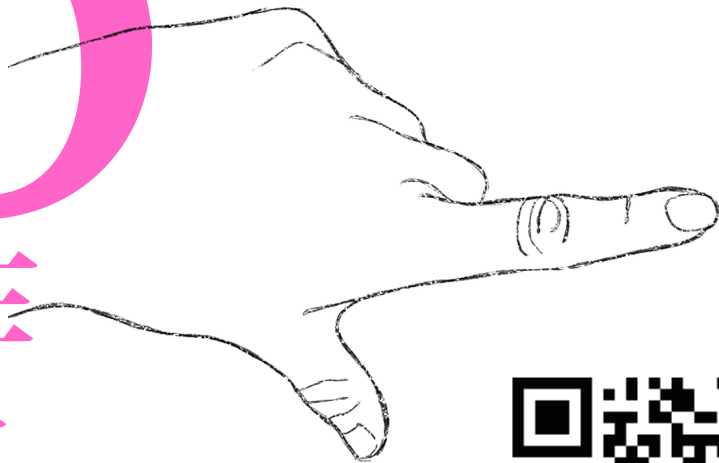
#わたしtoデザイン

2022 design competition on Instagram

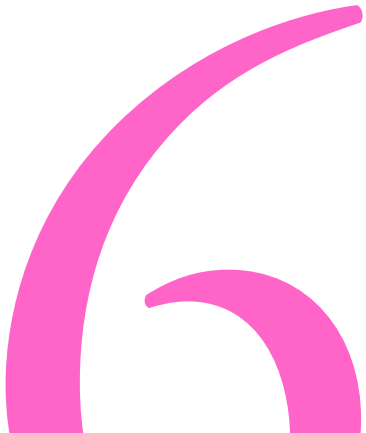
🔍 ケンデバ



作品募集



主催：共立女子大学 家政学部 建築・デザイン学科



第6回 わたしtoデザイン 受賞作品 テーマ「間」



最優秀賞 共立女子大学 1年 武田彩希

■審査員コメント

影絵は外と内をつなぐ間である中間領域の縁側、そして木々の間の木漏れ日と建築と自然の間を融合してとてもわかりやすい。かつ切り絵と自然をミックス、手も入っていて手作り感満載のユニークな作品です。



名誉審査員賞 クラーク記念国際高等学校 1年 吉田 姫夏

■審査員コメント

パソコンのアップロード・ダウンロードの間に人生の時間をリンクさせた作品である。全体的に斜めの構成やアイコンの濃さにより奥行き感が出ていて事が作品を平面的な画面に立体感を作り出している。人生は長い様で短く、短いようで長く感じることもあるがアップロード・ダウンロードも同じような感覚があることを表現できている。



学科長賞 共立女子大学 1年 林 彩夏

■審査員コメント

丁寧に描かれた作品であることはもちろんのこと、この中にはいろいろな「間」を彷彿させる要素が散らばっており、それをイメージすることがその先のワクワクした感じに繋がっていることが見ていて楽しい作品でした。



実行委員賞 共立女子大学 1年 佐藤萌々子

■審査員コメント

未曾有のパンデミックは私たちの生活にさまざまな影響を与えました。その中で、ただその状況をネガティブにばかり捉えるのではなく、受け入れ、そしてしなやかに軽く受け流すように（無関心とも違い）振る舞うその姿勢が頼もしく思います。若々しく瑞々しい表現だと思います。



U15賞 千葉市立泉谷中学校 3年 相馬 沙由樹

■審査員コメント

カレンダーをベースにその1日のスペースを「空間と時間」として捉えるアイデアは面白い。古書店の店内のような中央のイラストは丁寧に描かれており、そこは温かくゆったりとした空気を感じる。こんな空間で自分だけの時間を過ごせたらどんなに素敵だろうと感じた。



佳作 共立女子大学 1年 帯川美咲（動画作品）

■審査員コメント

音とボールの落ちるリズムが軽快で、何度も見てしまう。説明にもあったようにどうして落ちてきたのか、落ちた後のその後も想像させてくれる点も面白い。白い背景も想像を膨らませ、想像の余地というコンセプトもとても共感できる作品。



佳作 共立女子大学 1年 小澤美咲

■審査員コメント

間というテーマから世間というキーワードを導き出し、個人のアイデンティティについて取り上げたところに今日的なデザインの視点を感じました。一方向にみならず疑問を持って提案していくことはデザインの仕事の一つです。コピーをつけるなど初めて見る人にも思考を促すような仕掛けがあってもよと思いました。



佳作 共立女子大学 1年 菊地愛理

■審査員コメント

自分の脳内をイメージして描いた作品。コミカルであり、見ている者を楽しませてくれる若さ溢れる作品に仕上がっている。余白を残さずき間のない構図であるが、全体のバランスがとても良い。



佳作 共立女子大学 1年 恩田 紫野

■審査員コメント

不安定な社会情勢や人々の距離感の変化を肌で感じとり、「平凡な日常」のありがたさを素直に、そして丁寧に表現されているのがとても魅力的です。文字や絵の配置やバランスなど、構成力をさらにつければ、より魅力的になりそうです。期待しています。



佳作 東京電機大学 4年 北本倫太郎

■審査員コメント

物事の主張領域を表現した作品であり、宗教的でもあり神秘的でもある、壮大なドラマ、ストーリーを想起させる。何かがここから起こるのではないかというドキドキさ、不思議さを見事に醸し出している。プレゼンも凝っていて分かりやすく、好感が持てた。



掘賞 共立女子大学 1年 内田萌々香

■審査員コメント

線香花火。落ちて消える一瞬の間を表現した緊張感のある美しい作品です。よく観察していると思います。建築・デザインはまさにこの観察感が重要です。是非これからも観察し続けいい作品を作ってください。



高橋賞 共立女子大学 1年 菅生 琴音

■審査員コメント

古代の遺跡をイメージさせるようなシチュエーションとヴォイドから差し込む強い光、まるで光を求めるために地上に出てきた手というような壮大なストーリーを感じました。「間」の表現が抽象的であったり、曖昧であったりという作品が多かった中で「間」の存在を強く意識させている点がよかったです。



藤本賞 共立女子大学 1年 吉野 愛菜

■審査員コメント

誰もが感じる不思議な時間の感覚を見事に表現している。予定通りに来る電車、人がいる、いないの感覚空間の間にある線路や、時間通りにやってきた電車を意識したとたん、まるで違う空間に感じるという。そのような「間」をキーワードに、「透明な電車」という形で表現している。デッサン力も素晴らしい。



稲葉賞 共立女子大学 1年 高木 柚実香

■審査員コメント

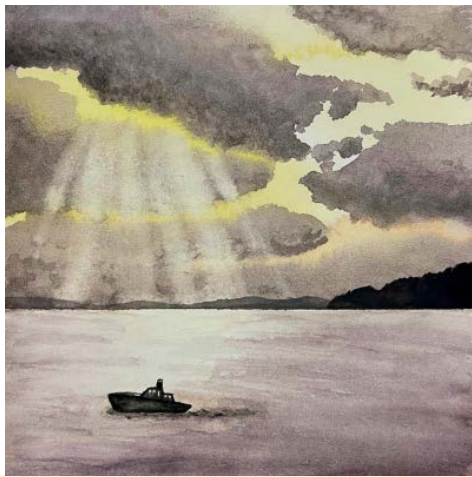
ビビッドな色で表現された手と手。絡まる細い糸。それはしがらみなのか、絆なのか。グラフィック的にもドキッとさせる表現ですが、その内容にもとても深いものを感じています。



山下賞 共立女子大学 1年 小峰 未来

■審査員コメント

模型で表現した数少ない作品で、侘び寂びの世界観を間としての感覚としている。静寂な間の空間が精神的な世界と私たちが生きる現実社会との間として存在している。この静寂な世界の中に入らなくて行きたいとの願望も共感できる。



萩生田賞 共立女子大学 1年 斎藤恋幸

■審査員コメント

光、雲、山、海、船によるシンプルな構成、淡色をによるややラフなタッチで引き込まれるような世界観を描いている。単純に綺麗だなと思いました。光が本来はもう少しシャープに注がれると思うのですが、そこはあえての表現でしょうか。でも、素晴らしいです。



石田賞 共立女子大学 1年 喜多彩乃

■審査員コメント

見慣れた「日常」が一瞬の間を捉えることで「非日常」になった時の違和感や不安をうまく表現できた魅力的な作品である。例えば時間が止まったような、あるいは災害で停電になった時のような不安や異次元の世界のような印象を受けた。日常の中に潜む瞬間を観察することで生まれた秀作だと思うので、その視点を常に持って作品制作に励んでほしい。



福田賞 共立女子大学 1年 宮崎真桜

■審査員コメント

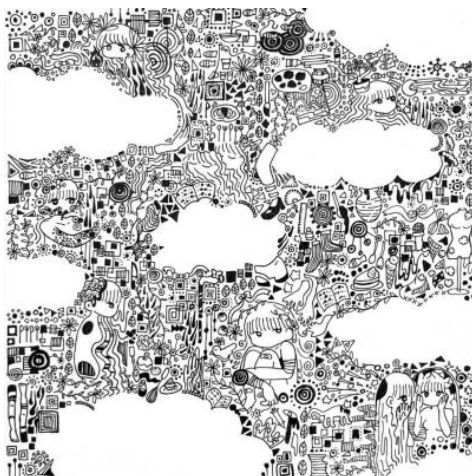
丁寧に美しく描かれた素晴らしい作品である。そしてこのパーソナル空間には様々な「間」を彷彿させる要素が描かれており、それを一つ一つさがしていくワクワク感もあり見て楽しい。手書きで構成し、デジタルで仕上げるこだわりも良い。今後もイラスト制作を続けてほしい。



田中賞 共立女子大学 1年 鎗田柊香

■審査員コメント

平面的な様々な作品をレイヤーにすることで人とのつながりや社会のつながりなど様々な意味を感じられる作品だと感じました。単純に絵にするのではなく、額縁をつけた立体作品になっているのも良いです。作品の背景や作品を置く場所を考えると意味がもっと明確になりそうだと思います。



水川賞 共立女子大学 1年 大澤風花

■審査員コメント

とにかく細部まで丁寧に描いているのがとても好印象です。望まなくとも不特定多数の情報が入って来てしまう現代社会。うまく情報整理が出来ないと振り回されてしまいますよね？そんな心境をシンプルな構成で上手にまとめています。あえて色を使わずに「モノクロ」で表現する「狙い」もしっかり持っていたりと、「伝えるために色々」と目論む姿勢がとても良いと思います。次回作も楽しみにしています。

第6回 わたしtoデザイン 応募作品
テーマ「間」



■審査員コメント

手のひらという個の空間に無限の宇宙空間をARで表現したのは意欲を感じます。しかし表現された宇宙空間は既視感があり単調に見えます。もっと作者なりの独特な宇宙空間が見たかった。



■審査員コメント

「間」という文字に注目したのはユニークだと思います。しかし、その「間」を英語で表記するとニュアンスが少し変わってきてしまいます。漢字のままでその文字の意味を踏まえつつ画面にレイアウトした方が意図が伝わった気がします。下手うまの表現もあるけど見た目に美しい表現を心がけてほしい。



■審査員コメント

人と間と書いて人間です。人は一人では生きていけません。様々な人と絶妙な、そして微妙な間をとりながら生きていきます。コロナ禍でその間がなくなりました。でも、そんな中でも人との関わりは無くなりません。この作品の一人という表現はまさにコロナかもしれません、コロナ禍での人との関係を表現してほしい。



■審査員コメント

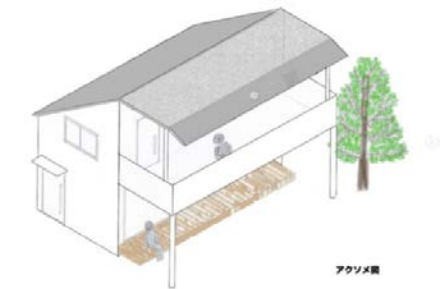
水平線は地球と宇宙のまさに間です。まさに無限に広がるような感じがする間です。その壮大な間を青の違いで表現したのはとても良いと思います。ただ、ヨットは点を示すことになり無限を阻害するのではなくてもよかったです。



■審査員コメント

喜怒哀楽とよく言いますが、自分の中にある様々な自分の感情との間を表現したということでしょうか。間の捉え方としてはとても面白いと思いました。針金細工という斬新な表現で感情のモヤモヤ感がよく出ていると思いますが、もう少し具体的に感情がわかる表現がよかったと思いました。

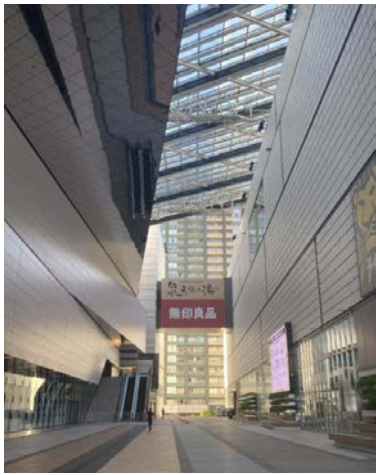
中庭の庭



テラスとバルコニーを設置することによって、外と中の中間スペースが生まれ、開放的な空間を作った。

■審査員コメント

半屋外のテラスに注目したものはとても良いコンセプトです。民家の中間領域である外と内をつなぐ縁側のような空間で、間の空間だからです。ただ、外と内をつなぐ間なので、外と内の環境が表現されていないと良さが伝わりません。



■審査員コメント

いわゆる人と人、店と店、内と外、そして内と空をつなぐアトリウム空間です。このようにアトリウム空間は「間」の空間と言って良いと思います。そこに活動が表現された写真であれば良かったと思います。



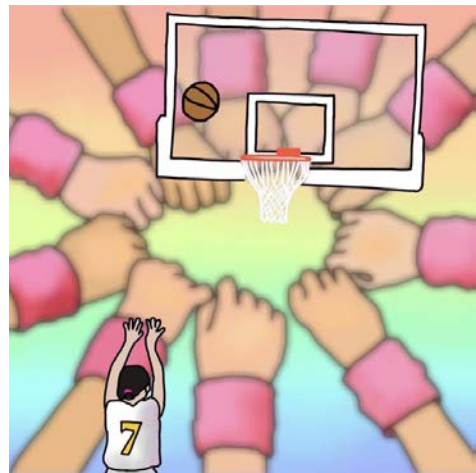
■審査員コメント

今回の間というテーマに対して資源を使い続けるサステナブルな案でとても好感が持てました。できれば前後の写真と比較して前後の間を表現するともっと意図が伝わったと思います。



■審査員コメント

スカイラインは地球と空をつなぐ「間」、夕日は昼と夜をつなぐ「間」で、とてもわかりやすい作品です。スカイラインが低く空が広い、そして夕陽が美しいとても好感が持てる作品です。



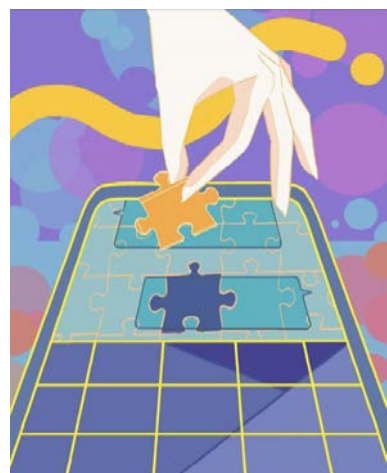
■審査員コメント

「人」と「間」と書いて人間です。人と人との「間」をバスケのゲームの瞬間と捉えたのはとてもわかりやすいと思いました。絵としては柔らかくとても好感が持てるのですが、一瞬の「間」のスピード感を感じさせる絵がほしかった。



■審査員コメント

「間」は空間と空間をつなぐものです。そのため世界には様々な間が存在します。この作品もまさに「間」です。「間」から生み出される木漏れ日や参道のような象徴性が表現されたらもっと良かったと思います。



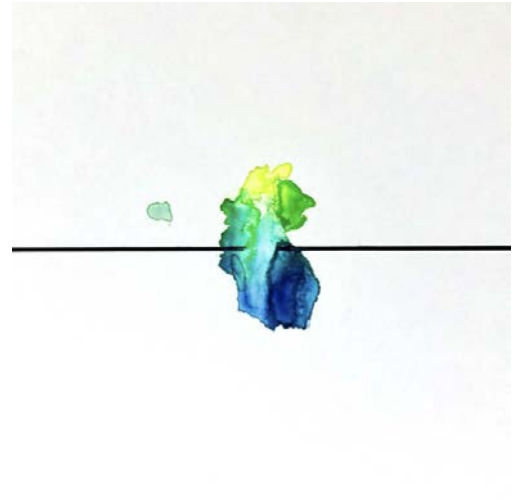
■審査員コメント

とても綺麗で微妙な色合いが魅力的な作品です。画面を構成する要素にもそれぞれに意味や役割があり、色々と考えながら手を動かしている姿勢はとても良いと思います。ただ、絵を観ただけで伝わる明快さや、シンプルな表現力も大切に思います。言葉による説明に頼りすぎないように心掛けてみて下さい。期待しています。



■審査員コメント

時計で「間」を表現したいのは何となく伝わるのですが、それ以上の内容が伝わりにくい印象を受けたのが残念でした。



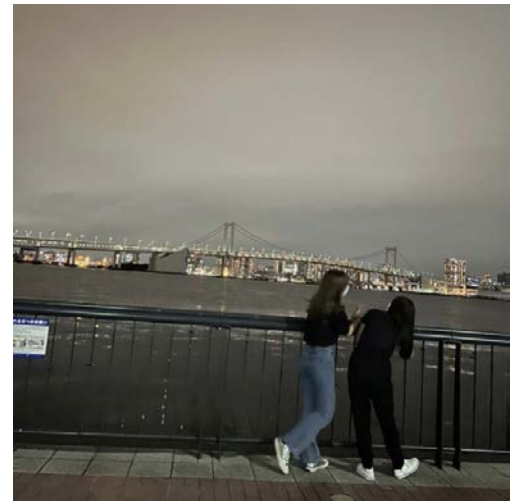
■審査員コメント

緊張感のある一本の線にカラフルな水滴（アマーバー？）が絡みつく瞬間を捉えたような表現と白い余白の間のバランスがとても美しいと思います。一瞬だけ時間が止まった「間」を描いている感じがよかったです。



■審査員コメント

交換日記で互いの気持ちのやり取りや距離感が伝わってくるのは面白いと思います。その「間」を少し違った表現にしてもよかったのかもしれません。



■審査員コメント

友人との物理的な距離なのか時間なのか、雲の切れ間なのか、テーマで求められているものをどこに表現しているのかとらえられないところがあります。構図も気を付けるべきでしょう、



■審査員コメント

ほのぼのとした感じで一見目をひくのですが、これが一体何を意味しているのか把握することができないのが残念です。本の背表紙ならばそれらしく見せるとよかったです。



■審査員コメント

空間の「間」を表現しようとした非常に意欲的なファニチャーデザインだと思います。ただプレゼンテーションにもう一工夫して、それがどのような空間に設えられるのかというようなイメージがあるとよかったです。



■審査員コメント

隙間の「間」を表現したいのはわかるのですが、そうであるならば構図や素材をしっかりと準備すれば、より「隙間」が強調されたのではないのでしょうか。



■審査員コメント

海と空と砂浜の「あいだ」としての「間」なのでしょう。淡い空の色が美しいのですが、もうひと手間加えらるともっとよくなったと思います。



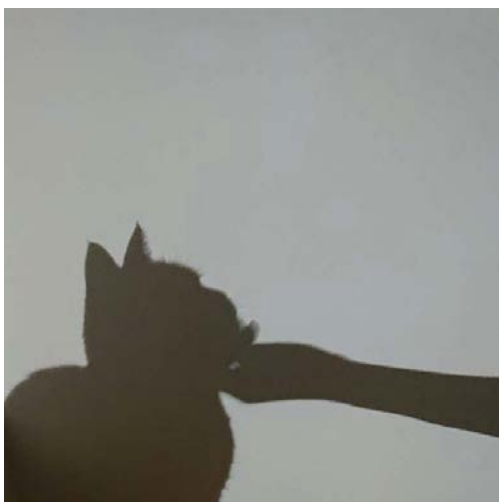
■審査員コメント

雨が今にも降り出しそうな（止みそうな）渋谷の風景はよいと思いますし、「間」を想起させるものは多く存在していますが、その中により強く想起させる「間」があってもよかったのではないのでしょうか



■審査員コメント

丁寧に描かれた空の青さとバラの色の対比は美しさと切なさが共存していてよいと思うのですが、もうひとつ「間」を強く表現してもよかったかもしれません。



■審査員コメント

動物とそれを愛でる手の影と余白に「間」なのか、動物と猫の距離感の「間」なのか、見る側がその「間」を読み取るには読取りに苦労しました。



■審査員コメント

多様な「間」が存在し、雲ひとつ無い空にカラフルな傘が映えて非常に美しいものの、既視感がありすぎて一工夫するともっとよかったです。



■審査員コメント

何か行動を起こす瞬間の呼吸、その一瞬の緊張感の空気感を表現したものの。吐息がふっと聞こえてきそうな口の絶妙な開け方と、気持ちを表現したであろう背景のブルーとグリーンの色づかいが美しい。ただ、イラストを見ただけでと内容が伝わらなかったのが少し残念。



■審査員コメント

会話中に話題が途切れ、間が生まれて静かになることを「天使が通る」というフランスの諺をモチーフにした作品。沈黙のマイナスなイメージを、ポップでかつアップテンポな曲でコミカルに仕上げています。急に音が途絶えるのには意味があったのだが、もう少し分かりやすい工夫があっても良かった。



■審査員コメント

「すき間」のイメージから砂時計の落ちる部分を連想して描いたとのこと。アイデアは良かったが、砂時計が落ちる部分の表現や、全体の構成を熟考するとより良い作品になると思われる。日々のデッサンの練習を勤める。



■審査員コメント

一瞬だが花火の咲き乱れる瞬間、お母さんへのプレゼントの花瓶の絵、それらの瞬間の感動の間を仕掛け絵本として2ページに渡って仕上げた作品。動きを体感できるように、繊細で丁寧に仕掛け絵本で仕上げています。立体として提出できていたら、より良い評価に繋がっていたであろう。



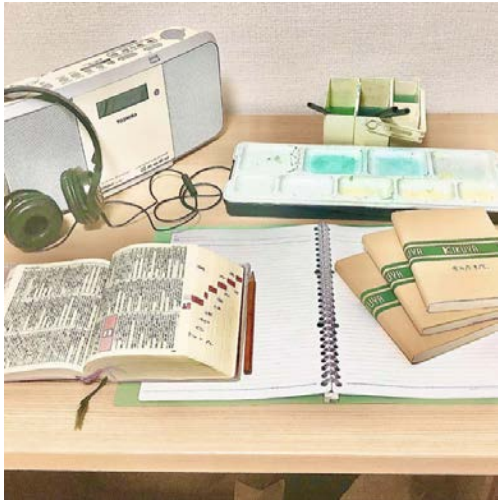
■審査員コメント

日常の風景を撮影した作品だが、この風景から住宅、海、山、木々、空、それぞれの間にはつながりがあることと表現したかったとのこと。写真のみの作品だが、表現したかったことがあまり伝わってこなかったのが残念。



■審査員コメント

「間」ということで自分の理想の門を探したとのこと。迫力のある門と、青い空と朱色のコントラストが美しく、空に浮かぶ城のようである。写真の端が切り取られているのが残念。



■審査員コメント

愛しい身近な辞書やノート、本やステレオなどの仲間たちを集めて、写真に収めた作品。全体のバランスが良く構図が面白い。作者の生活を垣間見れ興味を惹かれる。本のカバーがないほうが、個性が際立って面白かったかもしれない。



■審査員コメント

青々とした空と海を区切る水平線は遥か遠くまで「間」を作り続けている。そのコントラストを美しいと感じ、その「間」を表現したという作品。うっすらと遠くに島のようなものが見えていて、単なる水平線だけではないところも面白い。一見すると普通の海の風景なので、あと一歩工夫があっても良かったかもしれない。



■審査員コメント

パズルで「密」のコロナ渦を表現した。パズルはコロナ渦での時間、様々な間を表現している。一見写真での表現だと見間違えほど、スケッチ力が素晴らしい。



■審査員コメント

何気ない日々の生活や暮らしの中に馴染んだ身近な海の風景の映像だが、自然によって作りだされる不規則な間を動画でうまく表現している。静止画ではなく動画で音が入ったことで、表現したい効果は出ている。



■審査員コメント

普段は気にも留めていない日常の1シーンが、とても不思議に感じた瞬間の妙を上手に表現しています。手が届く距離にあるのに、全く無関心である心の距離感が、無表情な黒い人々によってより強く伝わってきます。ただ、もう少し希望というか、明るさがあったら良かったようにも思われます。



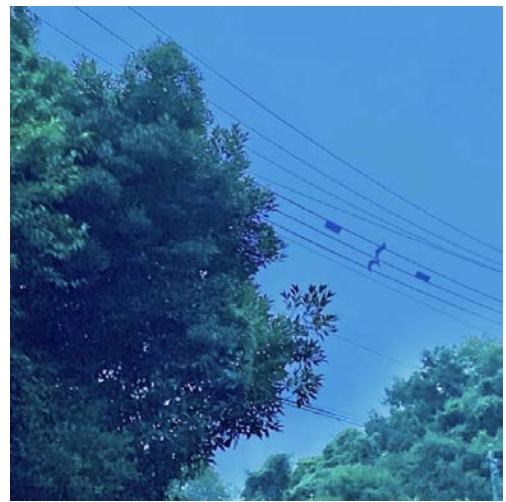
■審査員コメント

陽が沈む瞬間に時の流れを強く感じる感性に共感します。また、手振れも少なく、撮影も綺麗です。しかし、15秒という制限がある動画表現において、伝える為に、どの15秒をどのアングルで切り取るべきか？もっと最適な選択は本当には無いのか？そんな拘りが感じ取れるともっと緊張感のある表現につながるような気がします。



■審査員コメント

時間と空間は表裏一体の関係にあります。そのどちらが欠けても我々は存在し得ず、そして、時間と空間の「間」に私たちの生活があると思います。どの時計も5:00を指していますが、午前なのか午後なのか。どちらも1日の内で「空白」を感じる時間なのかもしれません。



■審査員コメント

ふと見上げた空を電線が横切り、それが五線譜に見えた。素敵な時間だと思います。脳内を音が巡ったのか、思わず歌を口ずさんだのか。そんなようにいつも心にゆとりを持ちたいものです。



■審査員コメント

見上げた空を人の視界よりもずっと広角で捉えています。人は意外と視界の内、一部しか意識することはなく、見たもの全てが記憶に残らないと言います。広角レンズである「瞬間」を捉えることで普段は感じられない幅広く微妙なグラデーションを伝えています。



■審査員コメント

作者の言うように、本当に不気味なものを感じます。少しだけ空いた襖の奥は謎の空間と時間が広がっているのでは、背中がゾゾとするのと同時に、子供の頃、押し入れに籠って自分だけの時間を過ごしたこともまた思い出にあります。



■審査員コメント

写真の一枚一枚は撮影者が何かが心に響いた瞬間を切り取ったもの、ロールのフィルムはその羅列なのです。また一般的なシャッタースピードは1/60秒から1/125秒位ですが、仏教用語の「刹那」は1/75秒と言われており、写真は「刹那」を切り取ったものだと言われていることがあります。ところで、生まれた時から当たり前にデジカメがあった世代でも写真を表現するとなるとフィルムなのですね。面白いです。(アナログ写真がご趣味なのでしょうか)



■審査員コメント

鳥居は、聖的な場と俗的な場とを分ける結界ですね。それが連続することで結界のトンネルになっている。鳥居を奉納した人はこの鳥居のトンネルでどこへ行こうとしているのか。パラレルワールド、ここではないどこか別の「間」に行きたいとの願いを込めているのでしょうか。



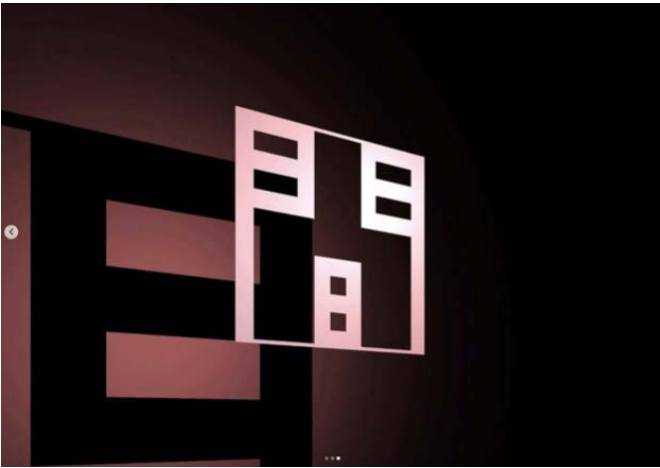
■審査員コメント

桜、蕾が膨らみ、一輪、また一輪と咲き、やがて満開になるまでは、あんなに心が華やぐのに、散り始めると急に寂しくなります。それでもやがて青葉が芽吹くとまた前向きな気持ちになれる。そんな植物は桜（ソメイヨシノ）だけです。



■審査員コメント

パーソナルスペースをクレイモデルでユーモラスに表現しています。親しき間でもお互いの適切な距離感の把握は重要ですね。遠すぎることもまた適切ではないし。



■審査員コメント

「間」を「間」の形態をした「フィラー」で埋める。「間」を埋めることで「間」を意識させる逆説的な提案で面白いです。漢字が読めない人はどう思うのでしょうか。漢字は表意文字ですから意外と面白い感想が聞けるかもしれませんね。



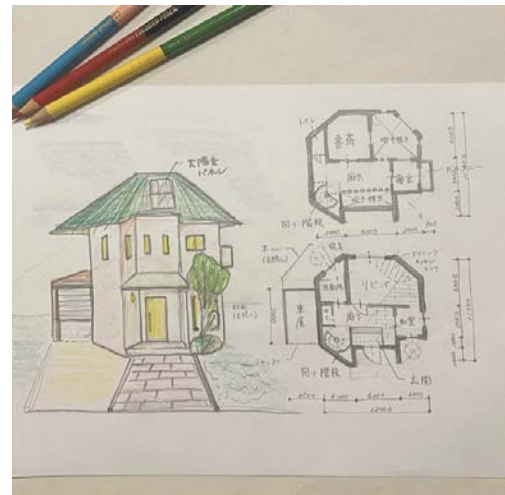
■審査員コメント

過密都市における路地は、通路であるばかりでなく、庭であり広場でありリビングでもありました。それは意図的に生み出されたものではなく、過密に建物を建てていった結果現れたものが一番魅力的に見えるし、最も人の生活環境に不可欠なものとなっていることが面白いですね。



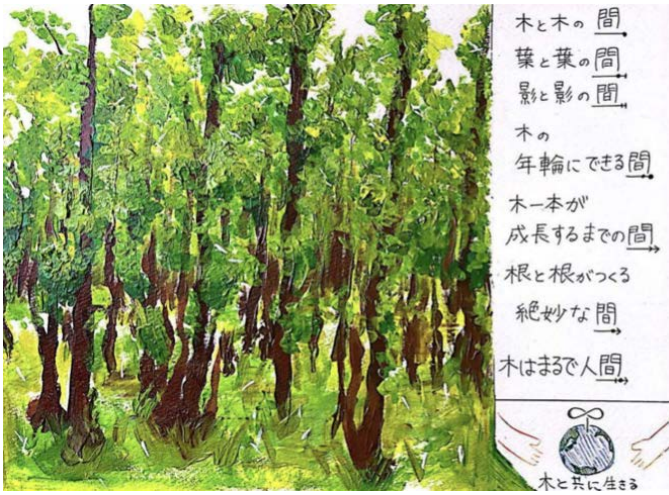
■審査員コメント

はちみつレモン、簡単ですのでぜひ作ることをお勧めします。ちょっと疲れた時には最高のリフレッシュドリンクになります。ただ、確かに仕込んですぐに飲み頃にならないので作ることを躊躇してしまうこともあります。そして飲むとあっという間に「間」になくなってしまいます。仕込んだ時には完成像が完璧には見えず、出来上がりまでタイムラグがあることは、アナログ写真とか陶芸に似ているのかもしれないですね。



■審査員コメント

これは作者の理想の「間」を生み出すための「住まい」なのではないでしょうか。ここでの生み出される「時間」や「空間」に思いを馳せてください。これからも、建築空間だけでなく、さまざまな経験、体験をして自分自身の「間」とは何か、真摯に向き合って深めていって欲しいと思います。



■審査員コメント

一見すると森の絵に見えるが、コメントを見ると木に人間を見立てて人の周りの間を表現する作品であり、人間関係の人と人の間を取り上げていることに新鮮さが感じられた。



■審査員コメント

一見すると友達と楽しく写っているだけの絵に見えるが、人生の大切な間や人間同士の触れ合いの間や隙間の間や私達の周りの見えない間が存在する事を訴える作品である。



■審査員コメント

現代の時代における人との関係性に生じる間についてsnsによって本来の人間関係に問題を起こしているのではないかと現代社会の問題点をついた作品であり、写真の赤ちゃんは生まれたばかりからこのような世界に生きている悲しさを表している。



■審査員コメント

人生や時間、空間の間に存在する様々な間を自分のカメラロールの重なり合いでその複雑さもしっかりと表現できている。今までの自分の人生経験を通して様々な間が訴えかける事ができている。



■審査員コメント

自分の周りの親しい人との過ごす楽しい時間と関係性を柔らかな空間をして表しているほのぼのと感じる作品であり、人との関わり合いが如何に精神的に重要かを説いている。



■審査員コメント

どこまでも続く青い空と海が見ている人に海と空の間を感じ取れるが、作品のコメントを拝見すると夏の季節とこれから訪れる秋の間を表現しているとのことで、夏が終わる寂しさも感じ取ることができた。



■審査員コメント

一見すると、飛行場での雨の水滴がこれからの旅たちの精神的な間を表したのかと思ったが、コメントでは雨が映る歪んだ風景による雨に対する良さを改めて感じとった感覚的な間を表している。



■審査員コメント

コメントがあえて無いので作者の意図は不明だが、壁に掛けられた様々な掛け時計が時間を刻む間を表していて、これから時間を告げる様々な音色を出すのでないかとそれまでの時間的な間を感じてしまう作品である。



■審査員コメント

日常生活における様々な間を、自分が毎回通る交差点での感情的な変化によって様々な見え方があり、同じ交差点に立ち止まる時に感じる世界観がその時の感情により大きく違うことを描いた作品あり感受性を感じ取れた。



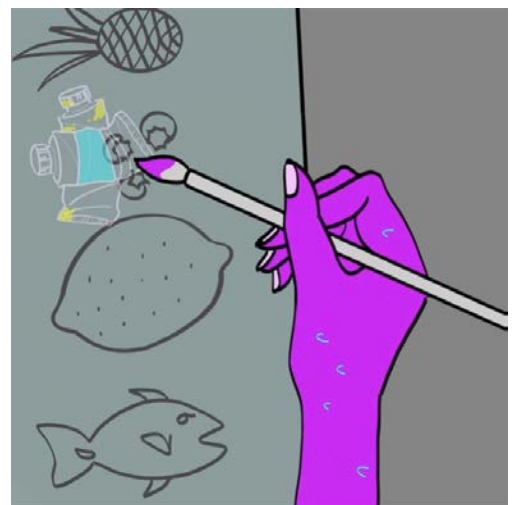
■審査員コメント

描かれた架け橋が過去・現在・未来を繋ぐものとして捉えていて、時間的な間をその橋を渡る瞬間に越えていくことを表していると思われる。小さな子供がこの時間的な橋を渡ること輝かしい未来が待っていると夢を与える作品である。



■審査員コメント

現在の自分と子供ができた時との時間的な間を表している。現在のコロナ禍は後世には教科書に掲載されるぐらいに世界を変える出来事だが、その渦中で学生生活をおくっている自分はマイナス面だけでは無いことを後世に伝えたいとの意思が伝わる作品である。



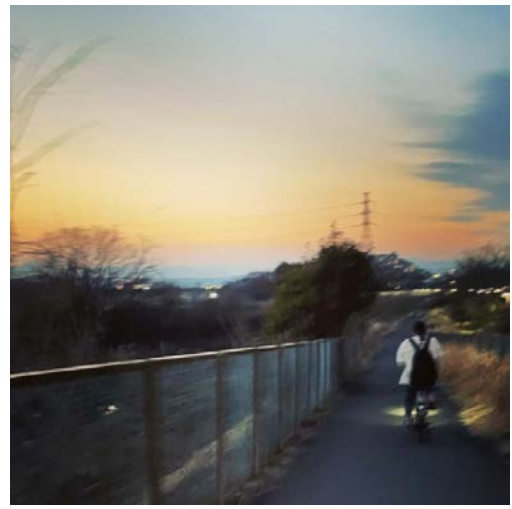
■審査員コメント

デザインの学生ならではの絵を描くときの悩みの間を手の汗がよく表されている。人生は何か決断するときと同じような悩みの感情が沸き起こるが最終的には幾ら理論的に考えても結論が出なく、むしろ自分の直感に頼る方が良いとの共感が持てる作品である。



■審査員コメント

「秘密」というテーマをイラスト的なタッチで描いてくれました。その割には手前の階段と窓周りが立体的で、奥の階段がやや平面的に描かれており、そのあたりの違和感をあえて出して幻想的な雰囲気を出したのかもしれないですね。



■審査員コメント

マジックアワーという「間」に自転車で帰宅途中であろう人の背中が写る。ぼかしたビントが哀愁を増幅させていて、背中の中の写る人の目的地（自宅）を連想させ、なんだか温かい気持ちになる。写真の構図がもう少し綺麗であれば、入選していたのでは。次回作に期待。



■審査員コメント

「間」を物質的・空間的・時間的なモノとモノに囲まれた空隙、ときちんと定義し、様々な隙間を作図していただいています。それぞれの間の関係性や4つのコマの意図がもう少し表現されているとよいなと思いました。



■審査員コメント

空間的・心理的・時間的な間をそれぞれ異なる写真で表現しています。白枠つけるというテクニックを使うところまではよいのですが、左の写真と白枠が少し見解しているところが残念。



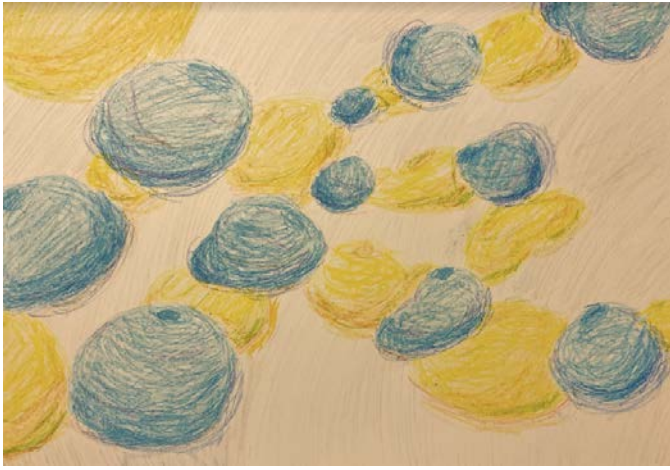
■審査員コメント

「間」というテーマを自分の好きなことをする時間と捉えています。イラストを描くのが好きな時間ということでしょうか？であれば、イラストの対象物ではなく、行為を可視化してくれるとよいと思いました。



■審査員コメント

手と手、指と指の「切ない間」が表現されています。触れそうで触れない、コロナ禍で会えそうで会えないというもどかしさが表現されていると想像しました。ちょっと黒のべた塗りに既視感があり、もう少し工夫されているとよかったかも。



■審査員コメント

孤独という「間」をテーマにしており、人とそのつながり、つながりがあるからこそその間を抽象的に表現しています。抽象化の中で「つながり」がもう少しわかりやすいと、説明を読まなくても意図が伝わったかもしれません。良いテーマなので、ちょっとそこが残念です。



■審査員コメント

食事の間を切り取った一枚。スマホに保存している記録として役には立ちますが、この写真から他の人に何かメッセージを届けたいという意図があるとよかったですね。



■審査員コメント

人と人の距離間が人間関係を表しているというメッセージ性は感じます。ただ、全員がカップル（+子供）という形態で多様性が見られなかったのが少し残念。



■審査員コメント

正しく時を打つ時計とそうでない2つの時計。悲しいかな止まっている時計は誰かの人生の閉幕時間かもしれない、時間の大切さを感じる。しかし、この扇風機何とかならなかったの？（笑）



■審査員コメント

人と人の断絶を象徴するシーンや対象を切り貼りによって表現しています。先生が笑顔で授業しているところが、逆にシリアスさを増長していて、一瞬怖くなりますね。



■審査員コメント

密集したビーズに偶然できた隙間、きれいなものの中にも落とし穴がある、というような格言にも思えます。きれいな写真ですが、もう少しメッセージ性があるとよいですね。



■審査員コメント

学校の休憩時間の賑やかな状況が浮かぶ可愛い作品。色やモチーフの形状も美しく天使という言葉に合っている。ただ、天使が通ると言われる一瞬の間がテーマだが、その隙間がもう少し伝わるような表現を探りたい。



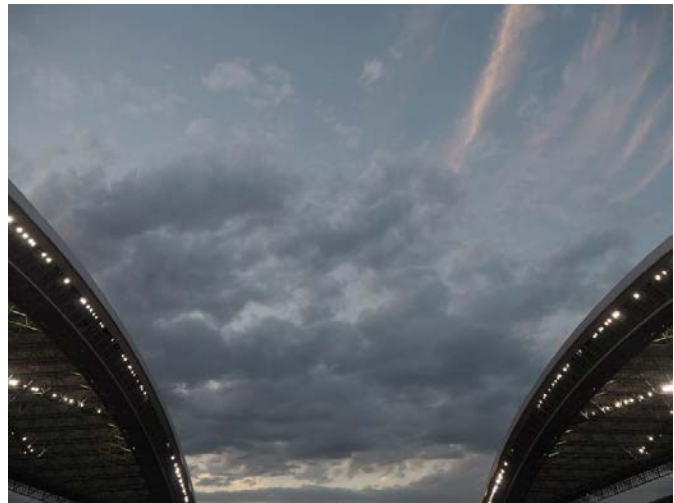
■審査員コメント

夕方の空は一瞬のうちに色や明るさや彩度が劇的に変化して美しい。自然のつくる美は人間が再現しようとしても中々難しいけれど、この作品は青と赤のグラデーションをうまく撮影し、静けさも感じる良い作品。屋上があるのは羨ましい。



■審査員コメント

たまにはお粧しをして外に出てみよう、その場その空間でしか得られないモノが必ずある。という素晴らしいメッセージを込めた作品でとても好感が持てる。スマホばかりの生活の少し暗く病んだ状態から一気に明るくハツラツとした表情になる変化も動画ならではの表現で良い。イラストタッチも好感が持てる。音が入っていてもより良くなったと思う。



■審査員コメント

建築物の隙間から見える空が形を切り取られることで何らかの意図が感じられる作品。シンメトリーな画面構成なのでもっと正確にシンメトリーに見せるか、画面の枠を意識した切り取り方をさらに追求するとより良くなったと思う。



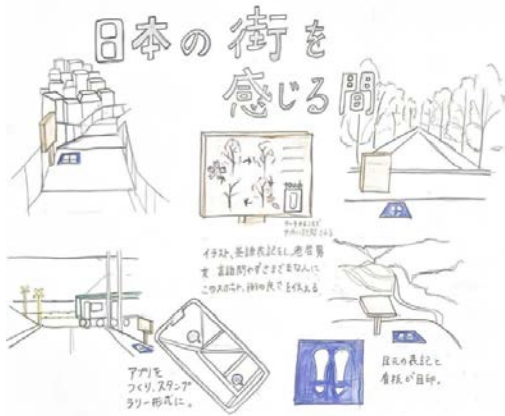
■審査員コメント

現代社会の様々なルールの中で、他人と関わりながらの生活は息苦しい事もある。どのように取捨選択しながら他人と共存するのかという、深いテーマを持った作品。タイトルも「sense」という投げかけがあり、作品自体もダンスか舞台で何かを演じている瞬間を捉えたもので、とても好みでセンスがある作品だと思う。が、伝わりきれしていないのが残念。



■審査員コメント

「生と死の狭間で」という非常にインパクトのあるタイトルで、自らの苦しい姿を客観的にみているもう一人の自分を描いた作品。その少女はどのように感じながら自身を見つめているのか、この少女の未来はどうなるのか、様々な想像を掻き立てる作品で興味深い。画面構成を工夫するとより良かった。正方形の画面での提出ではなかったことが悔やまれる。



■審査員コメント

普段何気なく過ごしている街にも美しい時間や場があって、それを可視化して人々に伝えようとしているアイデアは素晴らしい。また穴場スポットなどを巡ったり、おすすめを紹介したりとゲーム感覚で楽しめる点も面白い。提出されたプレゼン資料がもっと魅力的だったらと少し残念に思う。アイデアを人に瞬時に伝え共感を得る方法を学ぶと良い。



■審査員コメント

夕刻の色が変わる一瞬を捉えた作品で非常に美しい景色が表現できている。木々の後ろが燃えるようなエネルギーを感じながらも物静かな風景でもある所が不思議な世界観を作り出している。



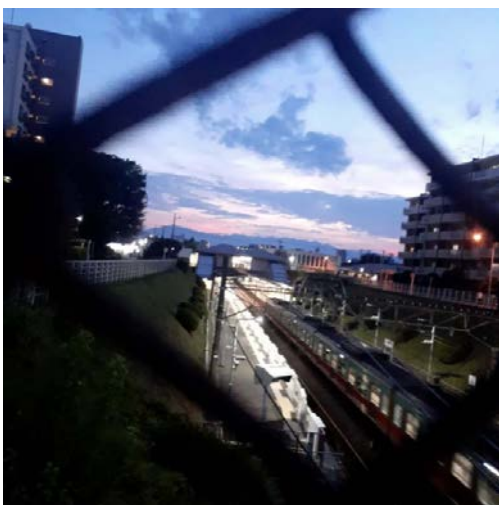
■審査員コメント

「家族団らんの間」という作品名に相応しいように、団らんの雰囲気さらに伝わると良くなった。例えば笑顔、例えば人物、それが直接的で難しいなら影を使ったり、団らんの途中のようにテーブルの上でお鍋が広がっているなど、団らんの余韻が画面から伝わると良いと思う。



■審査員コメント

空間に落ちる光と影の美しさの写真はとても美しい。コンセプトにあるように「空間を人間が共有する時間」の写真もしっかり示してくれば尚良かった。その空間に人が感じられるようにすることで、狙ったコンセプトが明快になると思う。立体物を作った努力はとても評価ができる。正方形の画面での提出ではなかったことが悔やまれる。



■審査員コメント

普段から見慣れた登下校の景色であっても、魅力的で劇的な色彩の変化がある夕刻は美しい時間帯、そのいつきに足を止めて今日と明日のつながりや感謝を表現出来る感性はとても良い。もう少し伝わるように何度も撮影してベストな写真を選定した方がよかった。



■審査員コメント

とても興味深いテーマで、我々クリエイティブを仕事にしている身としては、創造の時間を大切に感じて使用してもらえることが何よりも嬉しい。とても良いテーマだけにそれがあまり伝わらないのが残念。どのように伝えるか、初めてみた人がどう感じるかを想像しながら様々な作品アイデアを練った上で最上のもを選ぶと良いと思う。



■審査員コメント

正方形の中心に円形が置かれ、背景も丸く彩色されていて落ち着いた構図。丸いスイカの形をした空間で一休みした後これから何しようかと考えているような猫の瞳も丸く光っていて表情がありますね。スイカのおもちゃの質感の描き方にもう少し工夫があると良いですね。



■審査員コメント

間という漢字の形から日本間の窓や障子を発想したアイデアが面白いです。アイデアが魅力ある部屋としてのデザインまで昇華できると良いですね。丁寧な工作を心がけるとより良いでしょう。



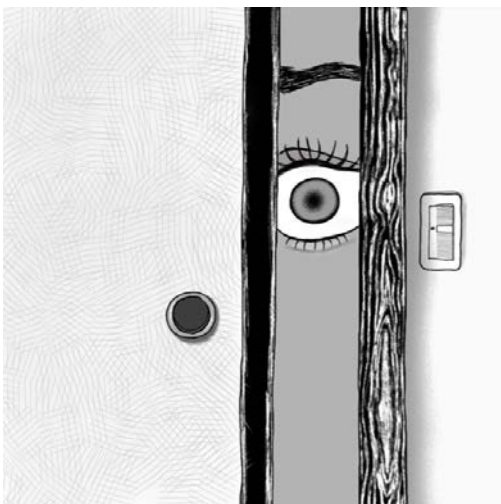
■審査員コメント

一瞬ドキッとする驚きのある作品ですね。地面（アスファルト？）の質感表現に比べて手の質感や色が単調なので、塗装に凝ると作品がリアルになってより驚きが大きくなると思います。また、外側の囲いや、撮影場所、影にならない撮り方など、人に見せることを意識した作品作りをすると良いと思います。



■審査員コメント

文字をデザインしてイラストのようなポスターのような作品になっています。段ボールを使って一部文字に厚みがあって立体的になっているのも面白いですね。せっかく立体なので光の当て方、影の出し方に気をつけるとより良くなりそうです。写真を撮る場所や構図にも気を付けましょう。



■審査員コメント

襖の隙間から覗いた巨大な目に驚きます。襖や戸当たり、柱の質感が白黒の表現と相まって余計に奇妙な雰囲気を感じますね。手がかりとスイッチパネルが相対的に単調なのでもう少し描込むと良いと思いました。



■審査員コメント

思いついたことを絵で表現した素直な作品ですね。ネギマのやきとりの質感が面白いです。写真の撮り方で少し暗くなってしまっていたり、紙のシワが気になります。丁寧に人に見せることを考えましょう。



■審査員コメント

和と洋画ミックスされたリビングはパースで描かれていて形がよくわかりますね。畳のモジュールが合っておらず全てバラバラなのはわざとでしょうか？絵の中に人を描いたり、棚に飾るものを入れるとより生き生きとした生活を感じる絵になったと思います。



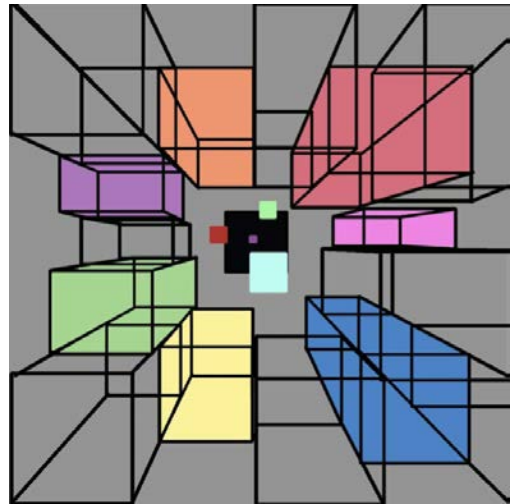
■審査員コメント

自然の景色と姉妹の間合いに共通点を見出した雰囲気のある作品ですね。ストーリーを感じます。今回は指定が正方形なので海から空の広さを縦で大きく表現しづらいので、もう少し姉妹にフォーカスしても良かったかもしれません。



■審査員コメント

日常の地上から非日常の雲の上へ上がって見えた世界の感動体験が美しい色の写真で表現されていますね。ハートの小さい赤色も差し色として効きつつ心情の表現にも重なり面白いです。タイトルはコンセプトにも関係する大事な要素なので、目が離せなかったという感動体験を表せるとより良かったと思います。



■審査員コメント

透視図法を使った平面構成のような作品ですね。わりと画面の隅にきっちりとパースラインが伸びていることで空間が窮屈に見えてしまいます。線の交差する部分などズレがあります。丁寧な作図をすることでより良くなります。



■審査員コメント

ゆっくりと景色を眺めながら過ごした幽閑のイメージをキラキラと柔らかく表現されています。色味から感じる夕方から夜に代わり始める時間を感じました。明るいところと暗いところのコントラストつけて焦点をはっきりさせても良いと思いました。



■審査員コメント

枯れた花から時間の経過を感じることができます。アイデアをしっかりと伝えるために。自然光を入れて撮影したり、撮影する場所を吟味したり、水平であるべき線は水平にするなど少し心がけるだけで写真がもっと良くなると思います。



■審査員コメント

一見すると川にかかる橋のある風景の絵に見えるが、人々の生活に大切なライフラインを表現している。橋、交通、通信などの人々に大切なつなぐ間や、人間同士の行き来から生まれるつなげる間の存在を訴える作品である。



■審査員コメント

タイムトンネルを表現しているアイデアは面白い。引き出しのフラットな写真表現ではなく、覗きたくくなるような、飛び込みたくくなるような表現が出来ていると良い。日常生活の「今」が机上から間として感じられることから、「未来」と「過去」への引き出しであると、さらに創造的な表現が出来たのではないかな。



■審査員コメント

ツインテールをしたときにできる「一番可愛い隙間」と「目と目が合う瞬間」を描いているが、内容が伝わりにくい印象を受け、なかなか評価しづらい作品。オリジナリティのあるイラスト表現でないのが残念でした。



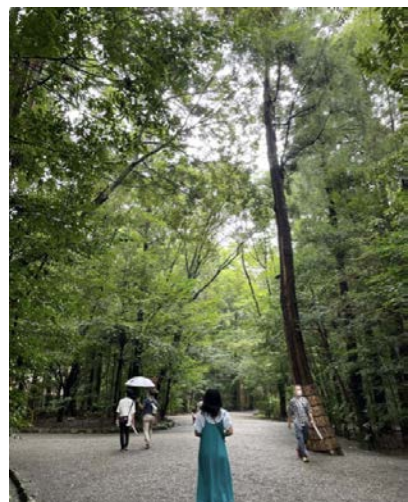
■審査員コメント

歯と歯の間の虫歯菌を表現したこの作品は、可愛らしく発展性がある。フェルトや布素材を使用し丁寧に制作しているのもNICE! 「毎日歯と歯の間を丁寧に磨きましょう!」とキャッチコピーを入れても良いし、歯磨きの練習ができるおもちゃとしても使えるのではないだろうか。



■審査員コメント

作者の「間に合わせる」というアイデアは大変ユニークで発展性がある。「間に合わせ」を消費者自ら工夫し、環境保全に貢献していく考えは欠かせないものである。是非今後もこのような発想を続けて、デザインの学びに活かして欲しい。



■審査員コメント

本作品は、伊勢神宮で作者が感じた"間"をテーマに表現している。人々はどのような思いを持って伊勢神宮を訪れているのか、そしてどのような感じているのか。その情景を写真として切り取るには、構図や光の状態、焦点の取り入れ方など、繊細な撮影表現が必要であろう。



■審査員コメント

建物と建物の隙間に目を向けて人を想像することや、建物と建物の隙間は表の世界と異なる時間が流れているという考えは大変良い。全体的にピントが合っていることから、奥の白い建物の主張が強すぎるように感じる。隙間だからこそ、繊細な撮影表現が必要である。



■審査員コメント

花と砂時計で「間」を表現しようと試みているのは、何となく伝わる。時の流れの中で寂しさも感じられる。文字盤のレタリングや砂時計の形など、もう少し丁寧に描かれていると良い。



■審査員コメント

小さなモノ・コト・ヒトに気を配り、そしてそれらを想うことの出来る作者であると、この作品から感じる。すき間から生えた小さな植物を見たときに作者が心を打たれたように人の心を動かすには、表現が説明的である。隣の光をさらに強く取り入れた表現になると良いであろう。



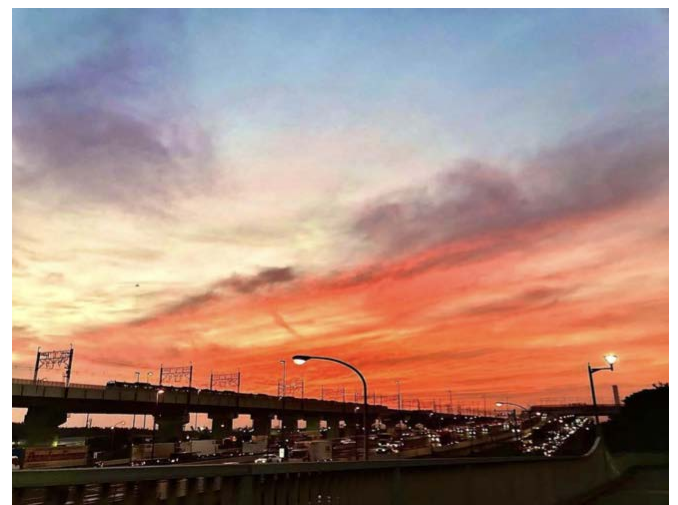
■審査員コメント

ストレス社会からの「出口」としての「間」なのでしょうか。出口のドアがタイムトンネルを表現しているアイデアは面白い。路地裏らしく、扉を開けて飛び込みたくなるような表現があると良い。もう一手間加えるともっと良くなったと思う。



■審査員コメント

夏1番の作者の「間」を表現したこの作品は、時間を忘れて自然を感じることもできる空間への出入口が表現されており、見入ってしまった。木々の間に見える鳥居と、その奥に見える雲。構図はユニークで、今にも蝉の鳴き声や人々の声が聞こえ、雲が動きそうである。このような時間を感じる事のできる写真を、作者には撮影し続けて欲しいと感じた。



■審査員コメント

作者にとって時間の流れを強く感じる夕暮れ時の空の変化をよく捉えて描かれています。この後、どのように雲が動いて行くかもイメージする事ができ、一見すると同じような空の色も、沢山の色味を探しながら誠実に描かれており、豊かな表現力を感じます。



■審査員コメント

元気な笑い声が聞こえてきそうな、とてもほっこりする素敵な絵です。コロナ禍にて規制され、友人らとの楽しい時間を望む気持ちが良く伝わってきます。おにぎり、お団子も美味しそう。ただ、説明文を読まなくても、テーマの「間」を多くの人と共有できるような「わかりやすさ」もあればもっと魅力的に思います。



■審査員コメント

誰にでも見た経験があるだろう暗闇に光る大きな眼。愛くるしいギョロ目と尻尾だけで猫をイメージさせる魅せ方がとても上手です。ただ、世界中の隙間を猫で埋め尽くしたいと目論む思いを伝えるならば、もうひと工夫が欲しいところです。



■審査員コメント

立場や視点を変えることで、それまで価値を感じていなかった物事に価値を見出そうとする姿勢を「縁の下」の空間を例に表現しているとのこと。「当たり前」を疑うような姿勢はとても大切に思います。ただ、ビジュアルにて伝える場合には、もう少し工夫があっても良かったかも？例えば「蟻さんの視点」で縁の下を描いたり？次回作に期待！



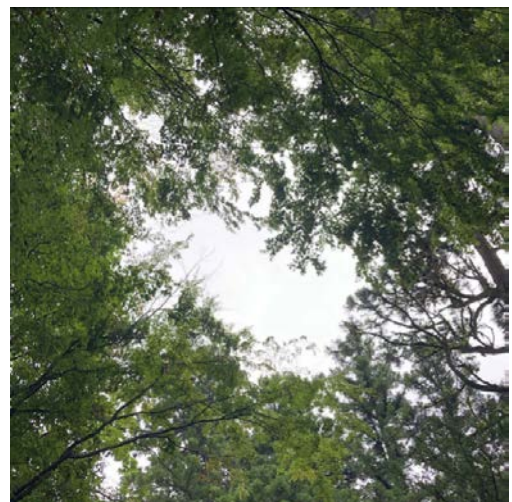
■審査員コメント

普段、塊として捉えがちな「紫陽花」。その塊を構成するディティールが作り出す「隙間」に注目した視点が魅力的です。より隙間の面白さを伝えるならば、自然光でそのまま撮影するだけでなく、室内にて少し強めの照明を当てて撮影し、ディティールの織り成す影を強調するなどの演出でも面白く演出できそうですね？今後も写真表現を楽しんでください。



■審査員コメント

あっという間に過ぎ去った高校生活の儚さを、象徴するアイテムである制服とそのファッションスタイルでビジュアル化したストレートな表現が魅力的です。シーンや構図などにもっと演出できれば、さらにインパクトのあるビジュアルになったかも？



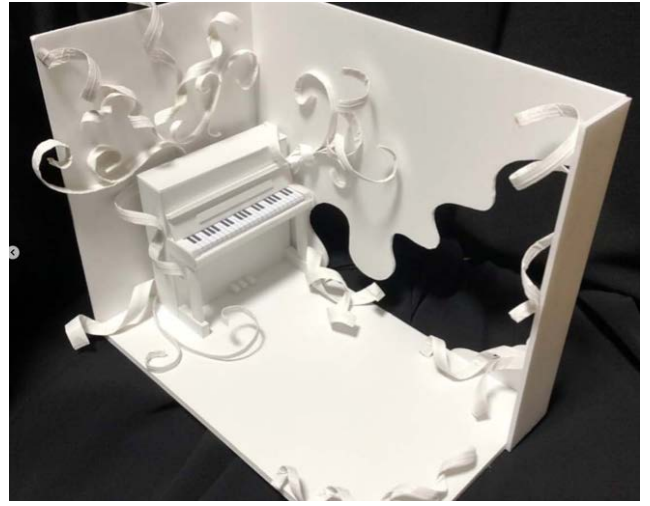
■審査員コメント

昼間でも薄暗くなるような深い森にて、光が差し込む森の切れ間。そんな神秘的な木漏れ日の魅力を感じられる素敵な作品です。欲を言えば、希望となる光をより強く感じられるような演出できたらより魅力的に感じられたかも知れません。



■審査員コメント

日本国内において、異国の国旗を象徴的なモチーフとして取り扱うシーンを紹介する事で、異国間の文化の違いやズレなどを連想させ、微妙な違和感を感じさようとした意図はともわかります。さらに他の国旗などと対比で見せる事でより違和感を演出できたかも？伝える為の工夫、これからも色々楽しんで下さい。



■審査員コメント

細かい細工の作り込みがとても魅力的な作品です。目には見えない音の拡がりをカタチにして表現しようとするチャレンジ精神にも好感が持てます。写真も綺麗に撮れており、コンペ条件を満たして提案して頂けなかったのが悔やまれます。